

# 日本音楽集団

## PRO MUSICA NIPPONIA



第171回定期演奏会

The 171st Regular Concert

### 長沢勝俊作品集

Music of NAGASAWA Katsutoshi



2003年5月24日[土]

午後3時開演(午後2時30分開場)

第一生命ホール

：主催：特定非営利活動法人日本音楽集団  
NPOトリトン・アーツ・ネットワーク／第一生命ホール

：助成：平成15年度文化庁芸術団体重点支援事業

■日本音楽集団：<http://www.promusica.or.jp/> <http://www.wahoo-net.com/promusica/>  
E-mail office@promusica.or.jp

■トリトン・アーツ・ネットワーク：<http://www.triton-arts.net>





### 一 颯踏 (1975年)

"Satto" for Fue and Percussions

[笛] 西川浩平

[打楽器] 尾崎太一・高橋明邦



### 二 箏四重奏曲 (1968年)

Quartet for Koto and Jushichigen

[箏] I 田村法子 II 三宅礼子 III 渡辺正子

[十七絃] 丸岡映美



### 三 尺八協奏曲 (1978年)

Shakuhachi Concerto

[尺八独奏] 宮田耕八朗

[笛] 西川浩平 [尺八] 添川浩史・渡辺淳

[三味線] 杵家七三 [琵琶] 首藤久美子

[箏] I 桜井智永・三宅礼子 II 田村法子・彦坂恵美

[十七絃] 久本桂子・前川美保子

[打楽器] 望月太喜之丞・若月宣宏

[指揮] 田村拓男

…休憩…



### 四 錦木によせて—五つの小品 (1973年)

To Nishikigi- 5 Showpieces

1. 藍玉 (あいだま)

2. 萌黄 (もえぎ)

3. 茜雲 (あかねぐも)

4. 瑠璃 (るり)

5. 琥珀 (こはく)

[二十絃箏独奏] 宮越圭子



### 五 大津絵幻想 (1981年)

Otsu-E Fantasy

1. 鬼の念仏 (おにのねんぶつ)

2. 藤娘 (ふじむすめ)

3. 瓢箪鯰 (ひょうたんなまず)

4. 長刀弁慶 (なぎなたべんけい)

5. 雷と太鼓 (かみなりとたいこ)

[笛] 西川浩平

[尺八] I 宮田耕八朗・砂川憲和 II 添川浩史・渡辺淳

III 阪口夕山・元永拓

[胡弓] 多々良香保里

[細棹三味線] 箕田司郎 [太棹三味線] 杵家七三

[琵琶] 田原順子

[箏] 桜井智永・丸岡映美・彦坂恵美

[二十絃箏] 久東寿子・久本桂子・高橋はるな

[十七絃] 宮越圭子・前川美保子・佐藤里美

[打楽器] 高橋明邦・望月太喜之丞

[指揮] 田村拓男

ごあいさつ

長沢勝俊



日本音楽集団とともに歩みつづけて今年で39年、今回の第171回定期演奏会は、10年ぶりに私の作品特集となりました。この長いあいだの演奏者と作曲家との交流の中でこそ、多様な編成、内容をもった曲をつくることが出来たと思っています。この演奏会を企画して下さった団員に熱い連帯のおもいを新たにすると共に、長年にわたり集団を支持して下さる多くの皆様方に厚く御礼申し上げます。

## 長沢勝俊の音楽

解説 沼野雄司

以前にあるところで、長沢勝俊を「日本のルロイ・アンダーソン」と書いたことがある。《タイプライター》《ソリ滑り》といった曲で知られるアメリカ軽音楽界の巨匠と、邦楽器作品を創作の中心に据えてきた長沢は、一見すると、全く異なったタイプの作曲家にみえるかもしれない。しかし、音楽家としての根本的な資質において、両者はきわめて近いように筆者には感じられるのである。

一言でいうならば、音楽が持つ「暖かみ」や「明るさ」の質が似ているのだ。彼らは音楽作品を、神秘的な孤高の裡に置くのではなく、作曲家・演奏者・聴き手の間を繋ぐ柔らかなネットワークとして提示する。すなわち人間の、人間による、人間のための音楽。だから長沢勝俊の作品は、たとえ響きそのものは短調であっても、常に聴き手の心を晴れやかなものにする。こうした音楽が現代においてきわめて貴重であることは言うまでもない。

## 颯踏

1975年の作曲。初演の際には「笛と打楽器のための音楽」という抽象的なタイトルで発表されたが、後に雅楽に由来する「颯踏」という名が付された。作曲者によれば、作品の主眼は、しの笛と能管という2種類の横笛の性格を、打楽器との合奏の中で際立たせることにあるという。

全体は2章に分かれており、まず第I章では、能管が冒頭で幽玄な世界を存分に繰り広げたのちに、即興的に導入される鼓や鑿の余韻と絡み合っゆく。そして第II章では、締太鼓のリズムによって、しの笛が祭囃子を思わせる軽妙な旋律を奏でる。後半にあらわれるシンコペーションも作曲者ならではの持ち味。

## 箏四重奏曲

1968年、NHKの委嘱により作曲。十三絃箏が3人、十七絃が1人という構成をとるが、第一箏、第二箏の調絃が完全5度の音程差でペアとなっている一方で、第三箏はそれよりも低い、異なった音階の調絃が用いられている。すなわち、ヨーロッパの弦楽四重奏における「ヴァイオリン2本、ヴィオラ、チェロ」という編成に近い感覚で、四面の箏が用いられているわけである。

全体は2つの楽章からなる。第1楽章は、d音を基調にしたブルース的な下行音型に始まり、第二箏によって提示される主題が、様々な形で変形・増殖を繰り返す。第2楽章は、やや荒々しい同音反復に始まり、途中で5拍子の不安定なリズムに転じて、ぐいぐいと先に進んでゆく。中間部では一旦テンポが遅くなり、旋律が緩を成すように折り重なる部分に入るが、ほどなくして急速なテンポに戻りクライマックスに達する。

## 尺八協奏曲

1978年の作品。日本の作曲界においては、1960年代半ば以降、一種の「尺八ブーム」が訪れたが、今から思えば当時にはもっぱら「ムラ息」を始めとする尺八のノイズ的な効果ばかりが強調されていたきらいがある。一方、78年に満を持して発表されたこの「尺八協奏曲」は、そうした効果にほとんど頼ることなく、正攻法で尺八の美点を生かした、堂々たる作品である。

曲はまず冒頭でたっぷりと尺八の独奏を聴かせた後に、箏群のアルペジオの上で尺八がのびのびとした旋律を紡ぐ主部に入る。続いて、独奏尺八と合奏部の尺八が絡み合った後に音楽は一気にテンポをあげて、打楽器をはじめとする全楽器が躍動。ここではとりわけ、琵琶や三味線の歯切れ良い響きの効果に注目したい。やがて様々な楽器の音色が堪能できる展開的な部分を経て、長いカデンツァに到達。ちなみに、このカデンツァは作品の初演者にして本日の演奏者、宮田耕八郎によるものである。最後は再び全楽器を巻き込んで、大きなフォルテシモで全曲を閉じる。

## 錦木によせて

1973年、野坂恵子の委嘱によって書かれた二十絃箏のための作品。「錦木」とは作曲者によれば「平安時代の和歌にみられる言葉で、恋文のかわりに一尺ほどの木をまだらに色どり、恋人の家の前に立てる風習」とのこと。

全体は5つの小品からなり「藍玉」「萌黄」「茜雲」「瑠璃」「琥珀」と、いずれも色彩に関わるタイトルが付されている。技術的には決して難しい曲ではないものの、のびやかな旋律の愉しさ、そしてどこかラヴェルなどの音楽にも通じる叙情が、作曲者の美点をよく表している。

## 大津絵幻想

1981年の作曲。初演時のプログラムによれば、タイトルの「大津絵」とは江戸時代に近江の大津で売られていた民衆絵画のことで、作曲者は「その奥深くひそんでいる民衆の誇らない自然の姿と智慧と余裕を、日本楽器の音に託して表現しよう」と試みたという。なるほど、こうした民芸品の飾らない美の世界は、長沢勝俊の音楽に最もふさわしいものであろう。

全体は5つの絵から着想を得た5曲からなる。まず、第1曲「鬼の念仏」は、尺八の合奏の後に、コンチキの金属音を合図にして、怪しげな鬼の絵巻があらわれる。とりわけ胡弓の響きが印象的。第2曲「藤娘」では、前半では箏のアンサンブルが、そして後半では笛と尺八が、夢と現の間を緩やかにたゆたう。第3曲「瓢箪鯨」は、三味線と小鼓がどこかユーモラスな味わいを醸しだす、スケルトンの音楽。歯切れ良いリズムが心地よい。第4曲「長刀弁慶」は、胡弓と琵琶による神秘的な旋律に始まり、三味線のリードで華やかな合奏に突入する。そして第5曲「雷と太鼓」は、勇壮な終曲。太鼓が全合奏の強烈なシンクペーションを呼び寄せて怒涛のように進んでゆくが、それぞれの楽器の持ち味を巧みに示す点に、作曲者の真骨頂がある。

## 長沢作品の魅力を訪ねて — 長沢勝俊氏取材レポート (聞き手=宮越圭子・水川寿也)

### SPに魅せられて

**水川** 唐突ですが、作曲をやりうと思われたきっかけは何ですか？

**長沢** 音楽が子供の頃から特別好きというわけじゃなかったんだけど、友達にクラシックが好きなのがいってたんで年中聴いてたんですよ。ウイナワルツとか軽騎兵序曲とか、クラシックだけど割合ポピュラーなものを。そんなのを聴いているうちに好きになってきたんですね。

**水川** それはレコードですか？

**長沢** レコード、ほとんどSPですね。当時シンフォニー1曲が3枚でした。

ベートーヴェンの第9なんかは表裏表裏で7枚から8枚あった。まあ片面3分位で往復で6分ですからね。その付録にねえ、スコアがついていたんですよ。

**水川** おー！

**長沢** それで、そのスコアを見て聴くと面白いよ、ってそのクラシック好きな友達に聞いてね。何回も何回も聴いてたら譜面が大体分かってきたんですよ。で、大体分かってくると今度は、あー作りたいたいな、作曲家になれるかどうかかわらな

いけど、やってみたいたいな、と思ったわけです。それで、まずピアノが弾けないとダメだと思って、その頃習ったりしました。**水川** 音楽をやるれることには全然反対はなかったんですか？

**長沢** 一番やりたいことっていうともう音楽しかなかったから、生きていく「あかし」みたいな感じですね。親からは別に何になれとは言われなかったけど、当時音楽やるなんてのは普通じゃなかったから抵抗ありましたねえ。でも僕はね、やっぱり音楽やりたいから、って言いましたよ。大決心でしたよ。そうしたら反対はされなかったです。しよーがないと思ったんでしょうね。

それで大学(日大芸術学部)へ行きました。だけど2年位したら、徴兵令状をもらっちゃったんですね。もう、音楽家の夢はすっとなじった…昭和18年の12月に入隊しました。最初は千葉県の習志野で4ヶ月間基礎訓練を受けて、そのあと歩兵とか戦車兵とかに志願して分かれるわけなんですけど、僕はねえ、体があんまり丈夫じゃなかったからとても歩兵なんかやれない。ガスマスクして走ったりなんかできないわけですよ、息が苦しくなっちゃって。それで水戸の航空

連隊に通信部隊があったのでそこを志願したんです。少しは楽かなと思ったのと、少しでも音に関係がある方がいいと思ってね。

で、そこで又4ヶ月、今度は基本のトンツートンツを。

水川 モールス信号をやられたんですか？

長沢 もちろんそうですよ。  
水川 すごいなあ、僕もやっていたけど、モールス信号はむずかしいですよ。

長沢 今度は走ったり鉄砲持って整列とかはあんまりなかったけど、でもわかんなかったですねえ、4ヶ月じゃ。というのは基本のイロハニホヘトは覚えられますけどね、打つのは暗号なんです。うまい人になるものすごく速く打つわけです。4ヶ月じゃそんなの全然出来なくてさ。で、それからみんな散らばるわけですね。僕達は南へ行けと言われました。



## 「エロイカ」を胸に

それで広島県の宇音から輸送船に乗ったんだけど、これが一番怖い船-ガソリンを日本に持って来るタンカー船で、中身はおろすからからっぽになるけど中はガスがたまって乗れないんですね。だから僕達は甲板に寝るわけ。一発当たったらガスが爆発してバーンっていっちゃ。それに乗せられて10月頃かな出発したのは。船は全部で12~13隻ありました。どこに行くかわかんないし、大体みんなやられちゃうんじゃないかって思っていましたから、その時に持って行ったのは日本刀とエロイカ(ベートーヴェン作曲交響曲第3番)のスコア…

水川 スコアですか！

宮越 それはその、SPに付いてきた…

長沢 そうですよ。エロイカは心のよりどころっていうか、僕にとってバイブルみたいなものでしたからねえ、せめて死ぬなら一緒になってね。それでいよいよ広島から出発したんだけど、東シナ海ってのは荒れるんですよ。波が10メートル位上下してね。救命胴衣をつけてるんだけどトイが大変で。船から張り出している梯子みたいなところにつかまってやるわけです。10メートルの波の中。怖かったですねえ。

そこを抜けるとやっと静かな海になるんだけど、今度はアメリカの潜水艦が待ち伏せしてるんですよ。見ている前で3隻位やられました。みんな手すりから海中をにらんで、見つけたら「雷跡発見！」ってんで船が方向転換するんだけどねえ、間に合わないことが多かったですねえ…それでやっとシンガポールに着くと、ここで初めて行く先がわかるんです。僕はスマトラでした。マラッカ海峡は浮遊機雷が浮いているんで間を縫ってすまなくちゃいけないって、3日かかりましたけどまあ無事にバレンバンっていうところに着いて、そこからメダン(スマトラの首都)へ行ったんです。着いたのは司令部のある大きなところでね、最初はもう仕事は全然わかんなかったんですけど、1ヶ月も経つとまあなんとかできるようになりましたね。

1日3交代制でした。夜中は周波数を変えて明け方戻すんです。夜中はヒマでしたね。昼間は防空壕を掘ったりしてましたけど、体は楽でしたね。それでそのうちに終戦になったんです。翌日召集がかかってそのことを知らされたんです。負けたからオランダ軍が来るってんで僕たちは山の方へ逃げて半年位いました。エロイカのスコアは、終戦の時にね、焼いちゃったんですよ。僕もやはり絶対生きて帰れない、負けたら殺されるから、なんて思っていましたからね。一緒に死ぬつもりでスコアだったから…それでいよいよオランダ軍が来て降伏して捕虜生活に入るんです。

## 音楽との再会

ジョロンのキャンプ地ではねえ、仕事は道路工事と石割りと港の荷揚げの3種類だったけど、僕は道路工事を希望したんです。なんでかっていうと、現場は長い距離でしょ、遠くの方だと監視から見えないからサボれると思ってねえ。(笑)

食事は1食ビスケット2枚で、病人は40人中の2名までしか認められませんでしたね。それでそのうちに演芸隊を作ろうって話が出たんです。仕事はきついし煮詰まってきたけど、何の楽しみもなかったからね。恐らく、仕事の能率も上がるから、とかで申請して許可をもらったんだと思いますよ。楽器の方は赤十字の人がアコーディオンとバイオリンを置いてってくれてたし、ハーモニカは持っている人がいたんで、あとその辺の材料でシロホンやコントラバスやギターまがいのものを手作りしちゃったんですよ。

宮越 えっ、そんなものを作るんですか？

長沢 うん、大工さんもいましたからね。旅芸人やかつら屋さんもいましたよ。僕はアレンジ担当でした。海軍の海図の裏が真っ白なんでそこに五線を引いて作曲してなんです。「ジョロン・キャンプの歌」とかね。そこに半年位いたのかなあ。で、そのうちウッドランド・キャンプに周辺キャンプが全部統合されたんですね。そうなるってだんだん規模が大きくなってきちゃってね。演芸場まで作ったんですよ、「羽衣劇場」っていいね、オケピット付きの。もちろん大工がいましたからねえ。電気技師もいたんで緞帳やマイクもついてましたね。

宮越 すごい…

長沢 しかも3つあったかな。どこの出し物が面白いかってね、競い合ってたんですよ。日曜ごとにやってたんだけど、客は同じなんで同じ物ができなくて大変でしたよ。演芸隊の隊長は慶応出の海軍中佐でね、色んな演劇の台本を覚えてて台本を書いてくれたんですよ。

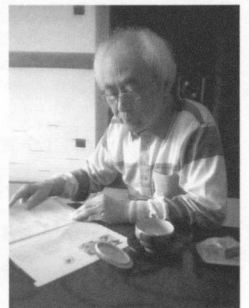
宮越 それもすごい方ですね。

長沢 文学青年もいたけど、こっちはシリアスなものを書いていたかな。女性がいなくて若くてきれいな子をひっぱってきて女形をやらせたりしてね。あと京都の呉服屋さんなんかもいたから衣装をやらせてもらってね。芝居の時はオケピットに入って伴奏してました。毎週譜面の書き下ろしがあってもう大変だったけど、他に負けたくないってんでね。一番受けたのはやっぱり喜劇でしたね。オープニングには名曲鑑賞もやりましたよ。B・C級戦犯の慰問にも行ったかな。キャンプの中には床屋もあったし歯医者もありましたよ。今も(その歯医者にかかっていますよ。

そうこうしているうちに翌年23年の10月か11月にやっと帰れたんです。演芸隊も各自の部隊に戻ってね、解散です。羽衣劇場のメンバーはその後も「羽衣会」って名付けて毎年集まってましたね。宿泊もできるところで、全国からね。ずーっと続いてたんだけど、だんだんみんないなくなっちゃってねえ、もう、ほんとにみんな、ね…本番で奏者の前にたらし、キニーネで染めたまっ黄色の布、まだ持ってますよ。

## その後

長沢 帰ってから半年位は仕事もないしブラブラしてたんだけど、紹介してくれる人がいて人形劇団ブークに入りました。オルガンやピアノやアコーディオンで伴奏しながら全国をまわりました。その頃清瀬保二先生についてたんだけど、忙しくて時間がなくてね。で、3年目位にブークの伴奏は人に任せて、僕は職場コーラスの指導をしながら作曲の勉強をしていました。そのうち記録映画の仕事が来て、その中に「樹冠」っていう作品があり(そこからとったんだ。)、尺八を入れてほしいってことでね。それで村岡実さんを紹介してもらって、彼に色々尺八のことを教わったのが邦楽器と出会ったきっかけです。そのあとそれが縁で東京尺八三重奏団のために「尺八三重奏曲」と「尺八3本と弦楽器のためディベルティメント」を書きました。その後、彼らや三木さんを中心に音楽集団が出来たので、一緒に活動を始めたというわけです。



# 長沢勝俊 邦楽器作品集

年	曲名	編成	初演者	時間(分)	各種データ・備考
1963	尺八三本のための小曲	尺八(3)	東京尺八三重奏団(委嘱)	10	
1964	子供のための組曲	尺八(3)、三味線、琵琶、箏(2)、十七絃、打(2)	日本音楽集団(第1回定期)、指揮・横山千秋	18	(レ)RCA、(CD)ビクター
1964	尺八・弦・打楽器のためのコンチェルト・グロッソ	尺八(3)、ビオラ(2)、チェロ(2)、打(2)	東京尺八三重奏団(委嘱) 他	15	
1965	愛の架け橋(和田芳恵作・中江隆介作詞)	メゾ・ソプラノ独唱、混声合唱、笛、尺八(2)、三味線、箏(2)、十七絃、打(2)	木村宏子、日唱、日本音楽集団、指揮・横山千秋	16	
1966	子供の四季	バトン独唱、児童合唱、笛、尺八(2)、三味線、琵琶、十七絃、打(3)	池田明良、東京放送児童合唱団、日本音楽集団、指揮・横山千秋	14	(レ)コロムビア、NHK委嘱
1966	組曲「人形風土記」	笛、尺八(2)、三味線、琵琶、箏(2)、十七絃、打(2)	日本音楽集団、指揮・横山千秋	25	(レ)RCA、(CD)ビクター
1967	三味線協奏曲	三味線ソロ、笛、尺八(2)、琵琶、箏(2)、十七絃、打(2)、	杉浦弘和、日本音楽集団、指揮・横山千秋	16	(レ)RCA、(CD)ビクター
1968	日本民俗詩より「恋の歌」	アルト・テナー独唱、笛、打(3)	日野てる子、立川澄人、日本音楽集団	10	NHK委嘱
1968	箏四重奏曲	箏(3)、十七絃	坂井敏子、白根きぬ子、野坂恵子、宮本幸子	9	(レ)RCA、(CD)ビクター、ジャパン・アーツ、(出)全音、大日本家庭音楽会、NHK委嘱
1969	箏三重奏曲	箏(2)、十七絃	さわらび会(委嘱)	13	(出)大日本家庭音楽会
1969	詩曲—独奏尺八のための—	尺八	宮田耕八朗	8	(レ)RCA、(CD)ビクター、(出)全音
1970	リコーダーと尺八のためのファンタジア	リコーダー、尺八	上杉紅童(委嘱)、古賀将之	5	
1970	二つの舞曲	笛、尺八(3)、三味線、琵琶、箏(2)、二十絃箏、十七絃、打(3)	日本音楽集団、指揮・山田一雄	14	(レ)RCA、(CD)ビクター、ナミ・レコード
1971	交響的幻想曲「朱輪金鈴」	笛、尺八(6)、三味線(2)、琵琶、箏(6)、十七絃、打(8)	日本音楽集団、指揮・石橋義也	19	NHK委嘱
1971	萌春—尺八・箏による—	尺八、箏	坂田誠山、白根きぬ子	10	(レ)RCA、(CD)ビクター、ナミ・レコード、(出)全音、大日本家庭音楽会
1972	絵馬—尺八とピアノによる—	尺八、ピアノ	宮田耕八朗(委嘱)、中島和子	10	
1972	まゆだまのうた	箏、尺八	吉岡紘子(委嘱)、宮田耕八朗	9	(レ)RCA、(CD)ビクター、(カ)大日本家庭音楽会、(出)全音、大日本家庭音楽会
1973	錦木によせて—五つの小品—	二十絃箏	野坂恵子(委嘱)	13	(レ)RCA、(CD)ビクター
1973	二つの田園詩	尺八、箏、十七絃	井上昌山(委嘱)、井上優子、吉岡紘子	8	(レ)RCA、(CD)ビクター、(出)全音、(出・カ)大日本家庭音楽会
1973	みち—日本楽器による八人の奏者のための—	笛、尺八、三味線、琵琶、箏(3)、十七絃	日本音楽集団(新人演奏会)	11	
1974	板碑(いたび)のうた—尺八と弦楽合奏による—	尺八ソロ、弦楽合奏	宮田耕八朗、東京ソリスト、指揮・田村拓男	12	
1974	日本楽器による幻想曲	尺八(3)、琵琶、箏(2)、十七絃	NHK邦楽技能者育成会(委嘱)、指揮・長沢勝俊	9	
1975	颯踏—笛と打楽器のための音楽	笛、打(2)	望月太八、尾崎太一、藤舎成敏	17	(レ)RCA、(CD)ビクター
1975	遡河(そか)(小田切清光詩)	琵琶弾き語り	半田淳子	22	
1975	四つの前奏曲—十七絃による—	十七絃	宮本幸子(委嘱)	13	
1975	楽しい練習曲集箏と尺八	尺八、箏(1)あるいは(2)			(レ)ビクター、(出)全音、合奏版あり
1976	三絃とオーケストラのための協奏曲	三味線ソロ、二管編成オーケストラ			三味線協奏曲のオーケストラ用編曲

年	曲名	編成	初演者	時間(分)	各種データ・備考
1976	「竹取物語」—龍女の玉— (海津勝一郎作)	笛、笙、箏、尺八(3)、 三味線(2)、琵琶、箏、二十絃箏、 十七絃、打(4)、語り	語り・稲垣隆史、 日本音楽集団、 指揮・田村拓男	30	(CD) ジャパン・アーツ
1977	春三題—三絃と箏による—	地歌三絃、箏	森の会(委嘱)、沢井忠夫、 沢井一恵	13	(レ) RCA、(CD) ビクター、(出) 大日本家庭音楽会
1977	飛騨によせる三つのバラード	尺八、箏(3)、十七絃	桐韻会(委嘱)	15	(レ) RCA、(CD) ビクター、ナミ・レコード、(出・カ) 大日本家庭音楽会
1977	琵琶協奏曲 —校倉によせる幻想—	琵琶ソロ、笛、尺八(2)、 三味線、琵琶、箏(2)、 十七絃、打(2)	山田美喜子(委嘱)、 日本音楽集団	13	
1977	若竹の賦	尺八(4)	青木昭(委嘱)	15	(出) 誠和音芸
1978	京の春	笛、尺八、三味線、琵琶、 箏(2)、十七絃、打		3	合奏研究会のために
1978	尺八協奏曲	尺八ソロ、笛、尺八、三味線、 琵琶、箏(2)、十七絃、打(2)	宮田耕八朗、日本音楽集 団、指揮・田村拓男	14	(レ) RCA、(CD) ビクター
1978	二群の箏による対話	箏(4)	新箏曲人の会(委嘱)	13	
1978	二つの三味線と小鼓による三章	三味線(2)、小鼓	杵屋静子、 杵屋勝芳寿(委嘱)他	12	
1978	六連星(むつらぼし)	箏、尺八	亀山香能(委嘱)、 三橋貴風	9	(出) 大日本家庭音楽会
1979	秋によせる三つの幻想曲	尺八、箏(2)、十七絃	京都邦楽グループ(委嘱)	15	(出・カ) 大日本家庭音楽会
1979	秋のうた—箏と尺八による—	箏、尺八	木本勝山、 寺尾早知子(委嘱)	14	
1979	宴	笛、尺八、胡弓、三味線、琵琶、 箏、十七絃、打		3	合奏研究会のために
1979	箏協奏曲	箏ソロ、箏三部、十七絃一部	大嶽和久(委嘱)、 グループ響	13	(出・カ) 大日本家庭音楽会
1979	樹冠	尺八、二十絃箏(2)、十七絃、 他に尺八、箏(3)、十七絃の バージョンあり	楽(委嘱)	15	(レ) ALM、 (出・カ) 大日本家庭音楽会
1979	遠野の里	二十絃箏	吉村七重(委嘱)	14	
1979	ともしび三章	尺八(2)、三味線(2)、箏(2)、 十七絃	創明合奏団(委嘱)、 指揮・小野衛	18	(出・カ) 大日本家庭音楽会
1980	箏のしらべ	箏(2)、十七絃		10	(出・カ) 大日本家庭音楽会、 NHK委嘱
1980	虹の輪	笛、尺八、胡弓、三味線、琵琶、 箏、十七絃、打	日本音楽集団	3	(CD) ビクター、合奏研究会のために
1980	冬の一日・パート2	笛、尺八、三味線、琵琶、 二十絃箏、あるいは箏(2)、 十七絃、打	日本音楽集団	16	(CD) ビクター
1980	雪三態	箏ソロ、十七絃ソロ、箏三部、 十七絃一部	沢井忠夫、沢井一恵、 沢井合奏団(委嘱)	19	
1981	大津絵幻想	笛、尺八(3)、胡弓、三味線 (2)、琵琶、箏、二十絃箏、 十七絃、打(2)	日本音楽集団、 指揮・荒谷俊治	23	(レ) RCA、(CD) ビクター、 ナミ・レコード
1981	沖縄の風	笛、尺八、胡弓、三味線、琵琶、 箏(2)、十七絃、打		3	合奏研究会のために
1981	玉柱	三味線	杵屋静子(委嘱)	11	
1981	錦木(野口達二作)	尺八(2)、箏(3)、十七絃、語り	邦楽の会つばら(委嘱)、 語り・築地利三郎、 指揮・長沢勝俊	30	
1981	のぼり太鼓(風の舞) —冬の一日・パート2より—	打(4)		2	合奏研究会のために
1981	むさし野	笛、尺八、三味線、琵琶、 二十絃箏、十七絃、打	日本音楽集団	8	合奏研究会のために

年	曲名	編成	初演者	時間(分)	各種データ・備考
1981	楽しい練習曲集箏と尺八(中級編)	尺八、箏			(出)全音
1982	北国雪賦	地歌三絃、箏(3)、十七絃	宮城合奏団(委嘱)	17	(出)大日本家庭音楽会
1982	国東の賦	琵琶、地歌三絃、十七絃	山田美喜子(委嘱)、 矢崎明子、菊地梯子	13	
1982	香—かぐわしき琵琶の音によせて—	琵琶ソロ、笛、尺八、箏、十七絃	半田淳子(委嘱)他	17	(レ・カ)ティチク
1982	のぼり太鼓第二番	打(3)			
1982	光の春—日本楽器による八人の奏者のための—	尺八、三味線、箏、二十絃箏(2)、十七絃、打(2)	日本音楽集団(新人演奏会)	10	
1983	有明の月	尺八ソロ		7	(出)誠和音芸
1983	風によせる三つの前奏曲	箏、尺八	木本勝山、 寺尾早智子(委嘱)	15	
1983	鳥と砂と海と	笛、尺八(2)、胡弓、三味線、 琵琶、箏(3)、十七絃、打(2)	日本音楽集団、 指揮・田村拓男	15	
1983	飛翔	尺八(2)		8	(出)誠和音芸
1983	寿歌(ほぎうた)	日本・中国の楽団による	日本音楽集団、中国中央民族楽団、 指揮・田村拓男	5	
1984	冬暁(とうぎょう)	尺八、十七絃	坂田誠山(委嘱)、宮本幸子		
1984	組曲「人形風土記」第二番	笛、尺八(2)、胡弓、三味線(2)、 琵琶、箏(2)、十七絃、打(2)	日本音楽集団、 指揮・田村拓男	21	
1985	秋の一日	笛、尺八、三味線、琵琶、二十絃箏 あるいは箏(2)、十七絃、打	日本音楽集団	16	(CD)ナミ・レコード
1985	呉竹箏玲(ごちくそうれい)	尺八(5)、箏	尺八「1979」委嘱	10	
1986	コロポックルのうた	尺八、三味線、箏	新典音楽協会(委嘱)	8	(出・カ)新典音楽協会
1986	紅花の曲	箏ソロ	白根きぬ子(委嘱)	8	
1986	スーパーカブキ・ヤマトタケル 音楽編		日本音楽集団	41	(レ・カ)キャニオン
1986	組曲「ヤマトタケル」	笛、尺八(2)、三味線、琵琶、 二十絃箏(2)、十七絃、打(2)			
1986	四つの小品	尺八(2)、三味線、箏(2)、 十七絃	日本音楽集団(夏期合奏 研究会のための曲をまとめたもの)	16	(出)大日本家庭音楽会
1987	彫板(えりいた)	笛、尺八(3)、胡弓、三味線(2)、 琵琶、箏、二十絃箏、十七絃、 打(2)	日本音楽集団、 指揮・田村拓男	20	
1987	かぐや姫の手事	箏(2)、十七絃		6	「竹取物語」より
1987	翠煙(すいえん)	笛ソロ	望月洋子(委嘱)	8	
1988	冬芽(とうが)	箏(2)、十七絃	宮城会(委嘱)	15	
1989	胡弓と箏による二章	胡弓、箏	野口裕子(委嘱)、 飯島香保里	12	
1989	仲秋のうた	胡弓ソロ	塚越清子(委嘱)	7	
1989	春告草(はるつげぐさ)	尺八、箏(2)、十七絃	宮城会(委嘱)	15	
1990	斑鳩(いかるが)へのみち	笙、箏、龍笛、尺八、三味線、 箏、打	日本音楽集団(研修生コ ンサート)	8	
1990	箏三重奏曲—琴引浜によせて—	箏(2)、十七絃	箏・三味(委嘱)	10	
1990	風流変容(ふりゅうへんよう) —笛と打楽器による—	笛、打(3)	日本音楽集団	12	
1991	清泉飛瀑—熊本の水によせて—	尺八、三味線、箏(2)、十七絃、打	熊本箏演奏者協会(委嘱)	15	
1991	玉桂のうた	笛ソロ	望月洋子(委嘱)	8	



年	曲名	編成	初演者	時間(分)	各種データ・備考
1991	寿歌(ほぎうた) 第二番	箏ソロ、十七絃ソロ、 韓国民族楽器合奏	花房はるえ、宮越圭子、 ソウル中央国楽管絃楽団	10	
1992	新三曲「うちなと津軽」	箏、尺八、三味線	花房はるえ(委嘱)、 宮田耕八朗、杉浦弘和	11	
1992	水煙風鐸	三味線、箏(2)、十七絃	宮城合奏団(委嘱)	18	
1992	笛伶(てきれい)	笛ソロ	望月洋子(委嘱)	9	
1992	寿歌(ほぎうた) 第三番	箏、二胡、ビリ	花房はるえ(委嘱)、姜建華、 李青雄	15	
1992	三重幻想	尺八、三味線、箏(2)、十七絃、打	第9回国民文化祭初演	18	三重県三曲協会(委嘱)
1992	伶—十八絃箏と箏群による協奏曲—	十八絃ソロ、箏二部、十五絃一部、 十七絃一部	佐藤紀子(委嘱)、 日本音楽アンサンブル	17	
1993	生きていてよかった	笛、十七絃	宮越圭子(委嘱)、竹井誠		
1993	トンコリのうた	二十絃箏、十七絃	木村玲子、宮越圭子	10	
1993	二胡協奏曲	二胡ソロ、笛、尺八(3)、琵琶、 箏(2)、十七絃、打(2)	姜建華、日本音楽集団、 指揮・稲田康	15	
1994	夏の一日	笛、尺八、三味線、琵琶、二十絃箏 あるいは箏(2)、十七絃、打	日本音楽集団	16	
1994	ひなうた	日本・中国・韓国の楽団による		13	
1995	五木の子守歌-今- —尺八・箏二重奏曲—	尺八、箏	古川郁代(委嘱)、 宮田耕八朗		
1995	風を感じる心	三味線、箏(3)、十七絃	NHK邦楽技能者育成会 (委嘱)	14	
1995	千秋のしらべ	笛、尺八、三味線、琵琶、箏(3)、 十七絃・打	清絃会	20	生田流箏曲清絃会(委嘱)
1995	玉桂—三味線合奏と打楽による—	三味線(2)、打		10	NHK千葉放送局(委嘱)
1995	吐玉泉(とぎよくせん)のうた	笛、尺八、三味線、琵琶、二十絃箏		11	ミュージック・フロム・ジャパン(委嘱)
1996	海のしらべ	尺八(3)	日本尺八連盟(委嘱)		
1996	和楽器による交響詩「富山の四季」	笛、尺八、琵琶、箏、十七絃、打	富山邦楽協会(委嘱)	20	第11回国民文化祭とやま'96
1996	ニポポゆめの旅	笛(能、篠)、尺八、三味線、琵琶、 二十絃箏、十七絃、打、語り	日本音楽集団、 語り・松尾典子		幼児音楽用作品。スライドを使用。
1997	呉吟三章(ごぎんさんしょう)	尺八ソロ	木本勝山	10	日本尺八連盟(委嘱)
1997	春の一日	笛、尺八(2)、三味線、琵琶、 二十絃箏(2)あるいは箏(2)、 十七絃、打(2)	日本音楽集団、 指揮・田村拓男	19	(CD) ナミ・レコード
1998	白神山地	三十絃ソロ	二世宮下秀冽(委嘱)	12	
1999	二つのマイクロコスモス	十七絃ソロ	丸岡映美(委嘱)	8	
2001	淡墨桜讃(うすずみさくらさん)	尺八三重奏	日本尺八連盟岐阜支部(委嘱)	12	
2001	湖北の冬	三十絃ソロ、尺八	二世宮下秀冽(委嘱)	10	
2001	宵宮から本宮へ	尺八(3)、打	日本尺八連盟(委嘱)	12	
2002	組曲「人形風土記」よりニポポ の夢	リコーダー(ソプラノ、テナー)、 三味線、箏(2)、十七絃、打(2)			2002.8.8.文科省ワークショップ用
2002	春のうたげ	笛、箏、打	望月洋子(委嘱) 他		
2002	オーケストラアジアのための 「寿歌(ほぎうた)」	日本・中国・韓国の楽団による		13	

(注) 打=打楽器 出=出版社 レ=レコード会社 カ=カセット

2002年

- 11月10日(日) 第8回みえ県民文化祭—第33回三曲演奏会 津リージョンプラザ お城ホール  
 11月12日(火)、13日(水) 栗東公演(幼稚園、保育所) 栗東芸術文化会館さくら  
 11月14日(木) 岩国学校音楽鑑賞コンサート シンフォニア岩国  
 11月17日(日) にしいず町民文化の祭典 静岡県西伊豆町町民体育館  
 12月13日(金) 世田谷学園芸術鑑賞教室

2003年

- 1月 5日(日) 新春邦楽コンサート ギャラクシティ西新井文化ホール  
 1月17日(金) おんがく工房その25「和楽器の調べ」 練馬文化センター小ホール(つつじホール)  
 1月22日(水) 第170回定期演奏会～新しい音を探るVol.1～ 津田ホール  
 1月24日(水)「現代琵琶楽コンサート」に出演 ムジカーザ  
 2月 1日(土) 日本音楽集団と宮田まゆみ(笙) シンフォニア岩国  
 2月16日(日) ふなばしコンサートサロンVol.10日本音楽集団「邦楽レクチャー&コンサート」 船橋市民文化ホール  
 2月16日(日) きらめく邦楽アンサンブル「日本音楽集団演奏会」 愛媛県生涯学習センター県民小劇場  
 2月20日(木) アートマネージメントセミナー2003祭囃子の魅力  
 国立オリンピック記念青少年総合センター内カルチャー棟1階大ホール  
 3月 7日(金) 新潟公演 新潟市音楽文化会館ホール  
 3月10日(月)「研究会」春の団内コンサートVol.II 日暮里サニーホールコンサートサロン  
 3月23日(日) 第28回春休み音楽フェスティバル～「和楽器による『ごんぎつね』と宮崎駿アニメメドレー」  
 東京都児童会館ホール  
 4月22日(火) 麹町学園中・高等学校音楽鑑賞会 東京芸術劇場大ホール  
 4月29日(火)「NO TO WAR 音楽家たちの平和セッション」に出演 Bunkamura オーチャードホール  
 5月24日(土) 第171回定期演奏会～長沢勝俊作品特集～ 第一生命ホール  
 5月30日(金) 埼玉県立鴻巣女子高等学校芸術鑑賞会 鴻巣市文化センタークレアこうのす  
 5月31日(土) 日本音楽集団演奏会「伝統(にほん)の音21世紀(いま)の音」 豊能町立ユーベルホール  
 6月 6日(金) 伊勢崎「竹取物語」公演 伊勢崎市文化会館大ホール  
 6月11日(水)～13日(金) 福井県学校巡回公演  
 6月19日(木) 群馬県立太田西女子高等学校芸術鑑賞会 太田市社会教育総合センター  
 6月20日(金) 川村学園音楽鑑賞会  
 7月 4日(金) 三味線フェスティバル in 東京 東京都江戸開府400年事業  
 現代邦楽名曲集に「太棹協奏曲」で出演 東京芸術劇場小ホール  
 8月26日(火)「研究会」団内コンサートVol.III けやきホール  
 9月12日(金) 那須野が原公演 那須野が原ハーモニーホール  
 9月19日(金) 第172回定期演奏会  
 ～クリティクス・プロジェクト・シリーズII 石田一志「祈りと踊り」 津田ホール  
 9月21日(日)～30(水) 第27次海外公演(エクアドル公演)  
 9月30日(火) 葛飾区立新宿小学校音楽鑑賞会  
 10月 2日(木) 福井公演 みくに文化未来館  
 10月 3日(金) 新潟県頸城村公演 ユートピアくびき希望館  
 10月 7(火)～9(木) 北九州市中学校巡回公演 ひびきホール、新戸畑市民会館  
 10月10日(金) 広島公演 庄原市民会館  
 10月17日(金) 日本音楽集団と有志による楽しい邦楽コンサート いずみホール  
 11月15日(土) 第173回定期演奏会  
 ～音楽劇「オイディプス王」より「砂漠に消えた王」～ 第一生命ホール

特定非営利活動法人日本音楽集団

【正会員】(団員)(楽器別・五十音順)

笛  
越智成人  
西川浩平

笙  
野田説子  
真鍋尚之

箏  
稲葉明德  
西原祐二

尺八  
加藤秀和  
阪口夕山  
砂川憲和  
添井浩史  
竹井郷誠  
原崎重隆  
藤水三貴(笛)  
宮田耕八  
元永拓  
米澤浩  
渡辺淳

胡弓  
畦地啓司(作曲)  
多々良香保里

三味線  
杵家七三  
工藤哲子  
坂口美香  
田中悠美  
穂積大志  
簀田司郎  
山崎千鶴子

琵琶  
首藤久美子  
田原順子

箏  
大島穂子  
久東寿子  
熊沢栄利子  
桜井智永美  
佐藤里美  
島崎春美  
城ヶ崎美保  
高橋はるな  
田村法子  
早川智子  
彦坂恵美子  
久本桂子  
前川美保子  
松岡知代美  
丸下映礼子  
三宮越圭子  
山田明由美  
山吉村由七  
渡辺正重子

打楽器  
白杵美智代  
尾崎太一  
仙堂新太郎  
高橋明邦(指揮)  
多田恵子  
望月喜之丞  
若月宣宏  
渡邊理恵

指揮  
稲田康  
田村拓男  
田村文生

作曲  
秋岸寛久  
川崎絵都  
長沢勝俊  
福嶋頼秀

楽器・舞台  
中島隆

名誉代表  
長沢勝俊

代表  
田村拓男

副代表  
尾崎太一

運営委員  
秋岸寛久  
越智成史  
添川浩平  
西川浩司  
簀田喜之丞  
望月喜之丞  
米澤浩

監事  
宮田耕八  
今井隆夫

事務局  
霜島素子  
益井紀恵

【賛助会員】

法人 (株)全音楽譜出版社  
(株)宮本卯之助商店  
NPOトリトン・アーツ・ネットワーク

個人  
青柳堯 藤山雅弘  
新井克輔 中島靖子  
飯塚絹子 中島康子  
飯吉正山 野原清子  
伊藤美恵子 古川羽衣  
今村厚子 本田実  
今村文彦 水野正徳  
大木紀史 森山俊雄  
大関富枝 渡辺京子  
太田颯衣 渡辺ハル  
川壁正則 渡辺治  
岸彰和 子  
小泉陽子 藤繁  
後藤昭彦 厚雄  
白杉和厚 塚愛  
関田原たま子

Andrew MacGregor

【協力会員】(五十音順)

名誉団員  
坂井敏子  
白根きぬ子  
野坂恵子  
宮本幸子

団友  
青木誠史  
秋浜悟史  
荒谷俊一  
伊藤惣隆  
稲垣悦史  
大川窪悦子  
川崎祥悦子  
菊地知子  
楠掛昭二  
鞍沼廣一  
鯉沼進一  
坂田祐靖  
芝清水義矩  
清浦弘和

砂崎知子  
芹沢英雄  
高野文子  
田嶋恵美子  
田嶋直士  
田嶋利光  
田鶴野和子  
藤舍呂悦船  
藤舍呂船  
仲俣申喜男子  
半田淳平  
廣瀬量久  
福田輝久  
鳳声晴旭  
星谷一郎  
細田陸美  
増田太佐衛  
望月太八  
望月橋康  
元矢崎明  
柳家小三治

横山勝也  
吉沢昌江  
デイヴィッド・ローブ  
デイヴィッド・ヒューズ  
ヘンリー・パーネット  
ラニー・シュルダン  
王燕樵  
張曉輝

地方支部  
道東支部 谷藤 彌  
道東支部 竹馬 亘  
水戸支部 斎藤 幸山  
山梨支部 郷 幸 晃  
長野支部 佐藤 幸 宇山  
新潟支部 飯吉 正 山  
愛知支部 山田 孝 子  
愛媛支部 山渡 治 子  
福岡支部 安武 由 香 理  
熊本支部 古川 安 春

2003年4月現在

賛助会員へのお誘い

1999年10月、特定非営利活動法人日本音楽集団が発足したのを契機に、賛助会員を募集しています。多くの方々からの支援を仰ぎ、息の長い活動を目指したく、ご協力お願い申し上げます。 募集の詳細はチラシをご参照ください。

特定非営利活動法人

## 日本音楽集団

〒151-0073 東京都渋谷区笹塚3-17-1 滝沢ビル302 TEL03-3378-4741 FAX03-3376-2033  
<http://www.promusica.or.jp/> E-Mail office@promusica.or.jp



### アイ・エム・エス

●楽器リース ●保管 ●移動 ●ステージ・スタッフ派遣

〒167-0043 東京都杉並区上荻2-3-4 ゆうでんビル

PHONE.03-3397-2292

FAX. 03-3397-7728

箏

箏を愛するすべての人の繊細な感情を忠実に音に表現するために、  
楽器の本質を追究した箏

十七絃箏

二十絃箏

二十五絃箏

Tokyo



Kinkodo

時を超え心に残る音づくり

有限会社 琴光堂

〒152-0003 東京都目黒区碑文谷2-19-15 TEL03(3792) 8481 FAX03(3792) 843  
E-mail : kinkodo@v004 vaio ne jp